

平成24年度

ちばコラボ大賞

連携事例の紹介



千葉県内には、福祉や環境、子育て、まちづくりなどのさまざまな分野で、企業や学校、民間団体、行政機関などと市民活動団体とが連携して地域の課題解決に取り組み、成果をあげている事例がたくさんあります。

県では、そのような連携事例の中から、他の模範となるような優れた事例を「ちばコラボ大賞」として表彰しています。

第2回目となる平成24年度は、県内各地、各分野から6事例の応募があり、以下の2事例を「ちばコラボ大賞」に決定しましたのでご紹介します。



大賞事例の紹介

多次元連携協働事業



この事例は、つくばエクスプレス「流山おおたかの森駅」周辺地域で、NPO法人や企業、大学、行政などが連携して、「防災福祉」をテーマに活動している取組みです。東日本大震災をきっかけに取組みを開始し、地域住民とともに、地域の危険箇所や避難経路などを記した防災マップを作成したり、マップを活用したまち歩きイベントを実施したりしています。

実施団体

- ・流山新市街地地区安心安全まちづくり協議会
- <構成団体>
- ・NPO法人市民助け合いネット
- ・NPO防災対策サポート
- ・NPO法人Rise up女性サポート実行委員会
- ・まちネット流山・流山ファシリテーターズクラブ
- ・江戸川大学・株式会社新都市ライフ
- ・都市再生機構千葉常盤開発事務所
- ・流山市中部地域包括支援センター
- ・流山警察署・流山市



活発な議論が
交わされる
マップ作り

マップを活用した
まち歩きイベント

多世代交流型コミュニティ事業



この事例は、柏市高柳地区において、地縁団体やNPO法人、社会福祉協議会、大学、行政などが連携して、高齢者や子育て世代の孤立化といった課題を解決していくこうとする取組みです。公共施設の車庫を、誰もが気軽に立ち寄って交流できるコミュニティカフェに改修し、地域の人たち自らが講師となる講座やイベント、野菜の定期市などを開催しています。

連携団体

- ・多世代交流型コミュニティ実行委員会
- ・NPO法人テラス21
- ・柏農家の野菜市運営委員会
- ・柏市社会福祉協議会・東京大学・柏市



コミュニティカフェが
地域の交流の場に



餅つきイベントなども
実施しています

表 彰 式



12月26日に千葉県庁内で行われた表彰式には、表彰事例に取組む連携団体の関係者など約60名のみなさんが参加しました。当日は、森田健作知事や鎌田元弘審査委員長（千葉工業大学副学長）も出席し、賞状の授与や記念撮影などが行われました。

森田知事からは「皆様のような取組みが千葉県全域に広がることを期待しています。」とメッセージが送られました。また、鎌田審査委員長からは「『千葉にコラボのまちづくりあり』と知れ渡るよう頑張ってください。」との講評をいただきました。



その他の応募事例の紹介

「地域介護に貢献できる人材育成を」



福祉・介護の分野で活動するN P O法人と県立高校とが連携し、高校2、3年生の生徒を対象に、介護員養成研修2級課程を実施しています。研修では、学校の施設を活用することにより生徒の経済的・心理的負担を大きく低減しています。

「金融トラブルに関する情報共有のセミナー開催」



近年、振り込め詐欺を始めとした消費者トラブルが増加してきています。そこで、子育てを支援しているN P O法人と金融会社とが連携して、N P Oのネットワークを活用した消費者教育活動を行っています。

「大草谷津田いきものの里の保全と活用」



千葉市若葉区にある「大草谷津田」は、多くの動植物が生息・生育し、多様な生態系が残る谷津田です。そこで、市民活動団体や生活協同組合、大学、行政が連携して、谷津田の保全活動や、次世代へ引き継ぐための活動を行っています。

「医科大学・市民団体・企業が連携した高齢者に向けた健康増進事業」



高齢者支援に取り組むN P O法人や企業、大学などが連携し、高齢者の生きがい活動を支援する「いきいきセンター」の育成や、センター同士のネットワークづくりに取り組んでいます。

平成24年度スケジュール

- 6月～8月 連携事例の募集
- 9月～10月 県事務局による1次審査
- 10月～11月 審査委員による2次審査
- 12月 表彰式

平成24年度ちばコラボ大賞 連携事例紹介リーフレット／平成25年3月

【編集・発行】千葉県環境生活部県民交流・文化課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

TEL 043-223-4165 FAX 043-221-5858 E-mail npo-kyodo@mz.pref.chiba.lg.jp